

GIKAI DAYORI



ぎかいだより

43号
平成28年12月 定例会

北海道大空町議会
平成29年(2017年)2月15日発行



11月26日大空町異業種交流イベント「おおぞらヤンヤン」

特集:「議会報告会・町民との 意見交流会」を開催しました

- 平成28年12月定例会
 - ◇特別職給与費を53万9,000円減額……………P7
- 平成28年11月臨時会
 - ◇広域穀類乾燥調製貯蔵施設……………P10
 - 整備関連費に70億8,596万円増額
- 委員会レポート……………P17
- 議会活動掲示板……………P19
- 「町民の声」馬渡 智昭さんより……………P20

町政を問う!! ~12月定例会~

【一般質問:3名の議員が登場】

- ☆田中裕之議員
 - ・大成4区会館前交差点での事故対応について…P12
ほか1件
- ☆上地史隆議員
 - ・不妊治療について ほか1件……………P13
- ☆齋藤宏司議員
 - ・高齢ドライバーの運転免許自主返納について……P15
ほか2件

大空町

検索



<http://www.town.ozora.hokkaido.jp>

町民との対話と開かれた議会を目指して

町民皆さんの声を直接聴く機会として「議会報告会・町民との意見交流会」を11月19日と11月20日にそれぞれ両地区で開催し、計27名の方に足を運んでいただきました。前半の議会報告会の部・後半の意見交流会の部において、たくさんのご意見をいただきましたので主な内容をお知らせします。また、議会に対するアンケートにもご協力いただき大変ありがとうございました。

●議会報告会の部（3常任委員会からの報告）

- ◇網走刑務所住吉作業所用地の状況について
- ◇定住団地の宅地分譲の状況について
- ◇道内行政視察調査の報告について
- ◇台風23号災害被災箇所の復旧状況について
- ◇女満別運動公園改修工事について
- ◇議会広報について

●意見交流会の部

- ◇自由に意見交換を行いました。

参加者からの主な質問や意見等・議会側の回答

主な質問・意見等	議会側の回答
●女満別空港の民営化はどの様になっているのか	◆空港は、[管制塔]「滑走路」「空港ビル」の3つに分かれている。民営化とは「滑走路」「空港ビル」を民営化して一括管理し効率化を図ることにより、新たな路線の参入などが図られ、地元にも経済効果が期待できる。現在、北見市、網走市、大空町でアドバイザー業務の委託中である。
●北見から美幌間の高規格道路の整備が何故進まないのか	◆オホーツク管内一丸となって要請している。地域交通ネットワークは鉄道、空、道路と総合的に考えて行く必要がある。
●網走川湯線の稲富付近の改良工事が行なわれているが、どの辺まで整備される予定なのか、どんどん進めて頂きたい。	◆今年度の工事は、現在改良工事が行なわれている部分、エミュー牧場から東藻琴寄りには諸事情があり遅れると聞いている。
●議会の出前講座を開催したことがあるのか	◆昨年、建設業協会と自治会連合会の方々と実施したところである。考えが有れば事務局を通じて相談いただきたい。
●議会議員は、町民が参加する研修会や講習会などに顔を出してもらって、住民に見える議員であってほしい。そのことにより意見交換会にも人が集まるのではないのか。	◆住民の方々に顔が見えないのは、我々にとっても致命的なことだと思う。町民の方々と距離をいかに近くして行くかという一つの取り組みとして、このような企画をしている。しかし、議会はどんなことをしているのかわからないということは前々から言われている。一つ一つ丁寧に自覚を持って解決して行きたい。いただいた意見を受けとめ、持ち帰って伝えながら、行動に移せるよう皆で確認して行きたい。

平成28年度

「議会報告会・町民との意見交流会」を開催!



参加者からの主な質問や意見等・議会側の回答

主な質問・意見等	議会側の回答
●網走刑務所住吉作業所用地については、町として購入したいということか、こちらからどういう姿勢で要請したのか。	◆無償は難しいと考えられる。町と議会が国（財務省、法務省）に対して要望書を提出している。こちらからは無償では言っていない。
●網走刑務所の作業用地について、これだけ広大な土地を無償で払い下げられるのか、それとも有償で買い取るのか。	◆無償と言う事は無いと思う。荒れた土地でありそんなに高いものにはならないと考えている。議会でも以前から一般質問等で話題となっていた。今年6月に議会としても要望書を作成し町長と国へ行ってきた。以前に比べ手ごたえを感じた。
●網走刑務所の作業用地の将来的な具体的活用は	◆具体的な内容はこれからであるが、広大な土地ですから、自然保護エリア、造林エリア、交流エリア、エントランスエリアなどに分けて活用していくことになる。
●網走刑務所の作業用地には過去に水田があったと聞かすが、農地としての活用は考えていないのか、植林した木は何年くらい経っているのか。	◆農地は考えていない。水田跡地は植林されている。カラマツであったかと思うが、森林組合の話によると森林としての価値は無いと言っていた。





主な質問・意見等	議会側の回答
●介護について、外国人労働者が介護士として働けるようになる。また、海外研修生のための日本語学校など外国人との接点をなんとか地域の産業として考えられないか。	◆日本語学校が良いか、別の形がいいのかも含めて、外国人の介護士等、国は門戸を開いていますので、地方の方にもそういう時代が来るだろうと、そのことは頭の中に入れて活動して行かなければならないと思います。
●議員の視察研修の写真が議員の顔ばかりである。行った先の施設の写真を多くすべきである。	◆これは決して事務局が悪いのではなくて、我々のチェックが足りなかった。非常に反省しています、今後こういうことのないように気を付けたい。
●介護施設では介護員が足りなくて本当苦慮している。東藻琴30床にしたなら介護員を確保できるのか、ベットを空けとくような形になるのではないか、確保する策を取って頂きたい。	◆今回視察に行った先でも人が足りないと聞いています。30床増床により8名から10名の人員が必要となる。我々も声掛けをさせてもらっているし、福祉会としても一生懸命努力している。
●介護員確保の努力を施設として当然しているし、役員で本当に真剣に考えている。介護士の給料が安い、人件費を補助し賃金を上げてほしい。	◆予算の配分をどの様に振り分けるかは、簡単に答えられない。人員確保については所管委員会として声掛けをさせてもらっているし、町としても、医療・介護従事者の確保・定着を目的に住宅準備や継続就業に対する支援、更に、資格取得に対する経費の助成制度を整備している。
●議会報告会の開催時間ですが、毎日のように高齢者の交通事故が起きているので、議会報告会だけでなく夜に行う行事が多いので、年寄りに参加を呼び掛けるのであれば、昼間など明るい時にお願いしたい。	◆会議等は担当部署でそれぞれ考えて開催している。議会報告会については、以前午後2時の時間帯を設定させていただいたこともあります。もっと明るい時間にやってはどうかという提案をいただきました。土曜日の昼間とか、同日で2カ所やることも可能ですし、午前中、女満別でやって、昼から東藻琴、明るい時間にできないかも含めて、検討させていただきたい。
●議会広報、一時期に比べるとカラフルで、写真が多くなりました。図表だとか、視覚に訴える。そこに努力もあったのかなと感じました。	◆少しずつ軌道修正し今日に至っております。モニター会議制度を取り入れ年2回意見をお聞きしていることもあり大変評判が良くなっています。しかし、逆に有頂天になったら駄目だと思います。どうしても議会のこと限定となりマンネリになるので、町民の皆さん方から興味を持ってもらえるよう今後も一生懸命やっていきたいと思っています。

主な質問・意見等	議会側の回答
●定住団地を造成し13件分譲の申込みがあり、建設状況や見込みはどうか、せつかく造成したのに申込件数が少なくもったいないのでは。	◆現在13件中、8件建設されている状況である。2年以内に着工する制約があること、またPRにひと工夫必要ではと委員会でも申し上げている。
●女満別空港への案内看板の整備をお願いしたい。空港に行く看板があるが小さいし、中標津空港などではたくさん看板がある。	◆北見側からはスムーズに案内できるが、東藻琴側からの案内は曲が多い。対処して行けるよう考えたい。国道については開発で看板を設置してくれた。補助の看板を観光協会独自で整備した。分かりやすい看板の設置に努力して行きたい。看板設置については色々と制約がある。
●女満別地区の道路は通り抜けできない道路が多い。国道や道道までの案内看板を整備する必要がある。地区名が表示されても我々は分からない。	◆我々は慣れてる面もあり、肝に銘じて町と相談しながら進めたい。
●女満別運動公園について、野球場をあそこまで大々的に改修する必要があったのか、いくら国からの補助があるとはいえ議員は疑問を持たなかったのか。雨が降ったら朝野球止めればいいし、同じ金を使うのに使い方があると思う。我慢できるものは我慢すべきでは。また、野球人口はどのくらいか。	◆グラウンドの状況が悪くて、雨が降るとダグアウトに雨が入るし、得点表示板も手作業で老朽化している。 ◆東藻琴でシニアの硬式の野球チームができました。硬式については、外野フェンスのラバーなどが必要となる。 ◆野球人口は、通年で2,700名程度と記憶している。
●女満別運動公園の拡張する中で、立木が随分切られていると思う。日影がないし切ったら植えるべきではないか。	◆運動公園の木は老朽化により伐採した。伐採した後の植栽について確認する。
●女満別空港通に長椅子があるが、ほこりが溜って、雨が降ったら座れない。車道に背を向けて誰が座るのか、ベンチを歩道の反対側に移設してもらいたい。	◆現地に行きその状況を確認させていただきたい。状況を見て町を通じて道に申し入れを行っていきたいと思う。
●女満別の本通りについて、椅子がないし休むところや日陰もない。個人宅の前でもいいので「椅子を置きましょう」スローガンを作ってはどうか。	◆昔は店先にお客さんが来たら、休むところがあったような気がする。街の中にそういう所がなくなったし、ちょっと休む所があってもいいのかなと思います。今後のまちづくりの課題かと思っています。



平成28年12月 定例会(12/20~21開催)で 決定した主な内容をお知らせします。

(条例制定6件・補正予算2件・指定管理者の指定などについて、全議員賛成で可決されました。)

※詳細に対する質疑・答弁内容は要約して掲載しています。詳細は、両地区図書館にある「会議録」をごらんください。また、議会ホームページにある「会議録」もごらんください。

●議会ホームページURL：
(<http://www.town.ozora.hokkaido.jp/docs/2015011300061/>)

平成28年度一般会計補正予算

町長及び副町長の特別職給与費を 53万9,000円減額補正

補正予算の主な内容

会計	補正予算額	補正後の総額
一般会計	3,878万円	177億4,358万円

<一般会計> 【歳出】

事業内容	補正額
地域振興施設整備事業備品購入費	380万円
臨時福祉給付金給付事業	2,119万円
廃屋等解体撤去補助金	50万円
環境保全型農業直接支援対策事業	176万円
農業農村多面的機能支払交付金事業	702万円
体育振興補助金	22万円
職員給与費(町長・副町長)	△53万円
その他事業	482万円

【歳入】

事業内容	補正額
臨時福祉給付金給付事業費補助金	1,800万円
環境保全型農業直接支援対策事業補助金	132万円
いきいきふるさと推進事業助成金	100万円
その他	1,846万円

平成28年度一般会計補正予算について、12月定例会にて審議を行いました。

地域振興施設整備事業に係る備品購入費に380万円、臨時福祉給付金給付事業に2119万円、町民の全道・全国大会参加助成に係る体育振興補助金に22万円を増額補正しました。

また、先の農地関連工事事務処理の職員不祥事に係る農業農村多面的機能支払交付金事業に702万円増額、それに関連し町長及び副町長の特別職給与を減給20%2か月分、53万9千円を減額補正し、総額は177億4358万円となりました。

質疑と答弁

松田議員 豊住排水機

場管理費負担金について最近大雨災害等が増えてきている状況だが、非常用ポンプの設置状況及び今後の設置の考え方についてお聞きしたい。

中村産業課参事 災害

時におけるポンプの手配状況です。平成29年度にはポンプを購入し対応を行いたい。

藤田総務課長 トマツ

プ川においては1基を常設、川尻漁場でも必要に応じポンプを手配している状況です。

山下町長 今後

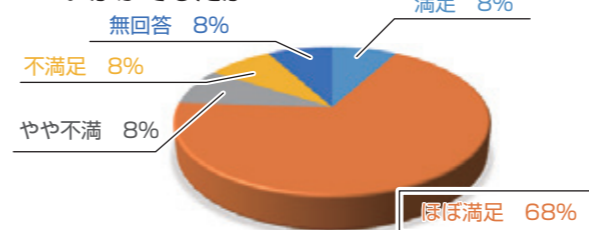
も非常用の備えを拡充して全力で取り組んでいかなければならないと考えています。

松岡議員 大空町広域

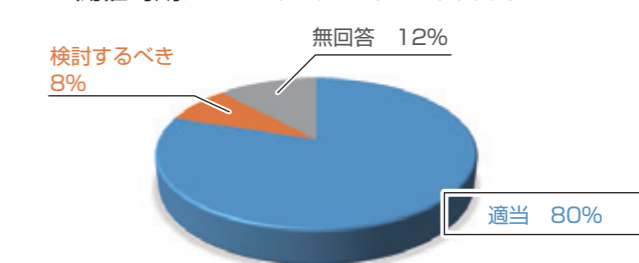
協定運営委員会負担金について、今回の職員の不適切な事務処理の件については、町民からの信頼を失う結果となった。今後再発防止に向けてどのような体制づくりを行うかお聞きしたい。

◆参加者アンケート集計結果 ※今回の参加者のうち25名の方から回答をいただきました。

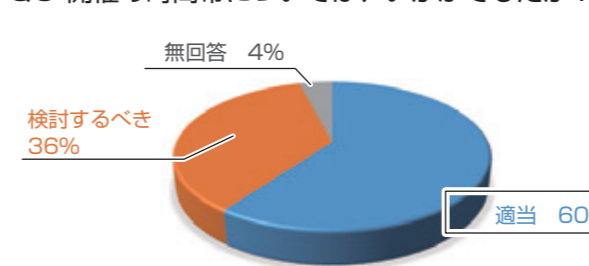
Q1 今回の報告会、意見交流会についての感想はいかがでしたか？



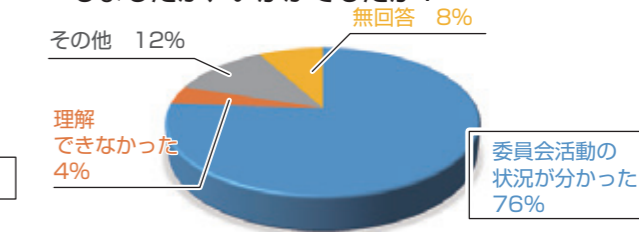
Q2 開催時期については、いかがでしたか？



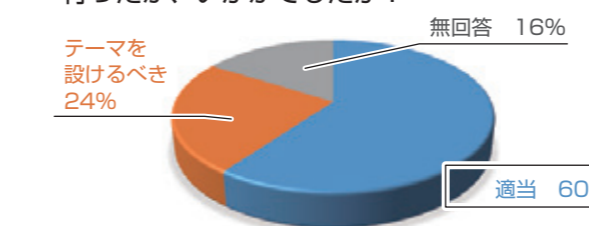
Q3 開催の時間帯については、いかがでしたか？



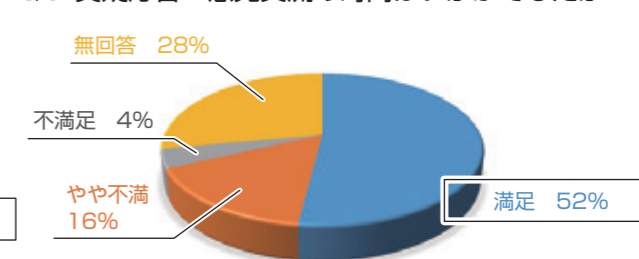
Q4 今回は、常任委員会の調査活動について報告しましたが、いかがでしたか？



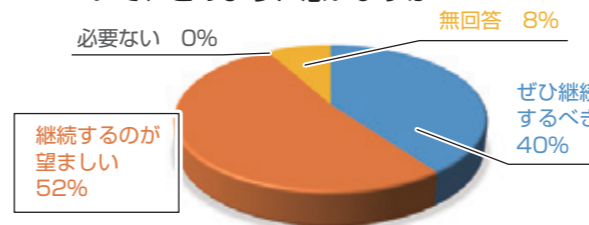
Q5 今回の意見交流会は、テーマを設けずに行ったが、いかがでしたか？



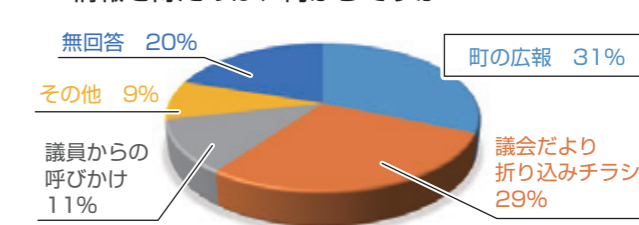
Q6 質疑応答・意見交流の時間はいかがでしたか？



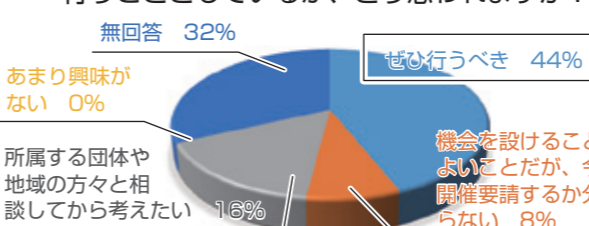
Q7 今回のような議会報告会・意見交流会の開催について、どのように思いますか？



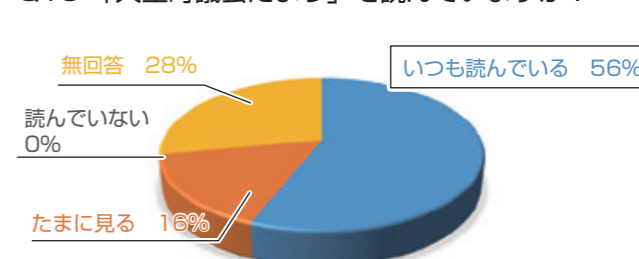
Q8 「議会報告会・町民との意見交流会」の開催情報を得たのは、何からですか？



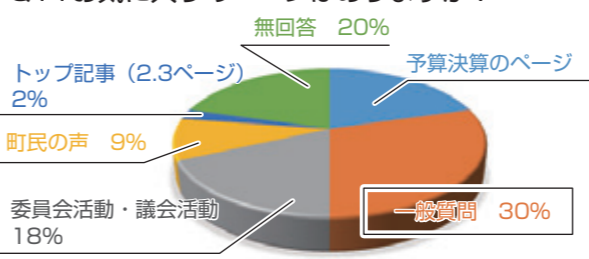
Q9 議会では町内各団体の要請により出前懇談会を行うこととしているが、どう思われますか？



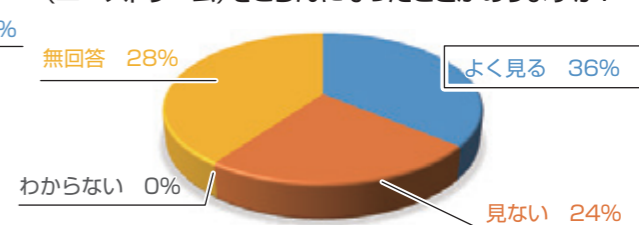
Q10 「大空町議会だより」を読んでいますか？



Q11 お気に入りのページはありますか？



Q12 インターネットで「議会ホームページ」や「議会中継(ユーストリーム)」をごらんになったことがありますか？



川口副町長 組織として今後はこのようなことがないよう、職員一人ひとりに立場を深く認識させるよう指導していきたくと考えています。

山下町長 私からも深くお詫び申し上げます。職員だけではなく、そのような職場環境にしてしまった私にも責任があると感じております。今後はその環境の見直し等を行っていきたくと考えております。

物品の購入
東藻琴診療所の超音波画像診断装置の購入
平成17年から使用して



東藻琴診療所の超音波画像診断装置

いる現装置の老朽化により、操作性の良い3D画像処理の可能な新機器を導入します。指名競争入札の結果、購入金額861万円で三好メディカル機が落札しました。

財産の無償貸付

医療法人社団双心会への土地及び建物の無償貸付
大空町医療計画の基幹病院である女満別中央病院の医療の確保を図ることを目的に、病院周辺の土地及び医師住宅の無償貸付けを双心会へ行うため、地方自治法の規定により議決を行いました。



女満別中央病院医師住宅

指定管理者の指定

町内の施設等の指定管理者の指定について、次の表の4施設の内容で提案され、議決を行いました。



東藻琴老人福祉センター



女満別農業構造改善センター

管理施設の名称	指定管理者	指定管理期間
女満別農業構造改善センター	社会福祉法人 女満別福祉会	平成29年4月1日から平成34年3月31日まで
障がい者福祉センターちあふる	社会福祉法人 東藻琴福祉会	平成29年4月1日から平成34年3月31日まで
東藻琴老人福祉センター	社会福祉法人 東藻琴福祉会	平成29年4月1日から平成34年3月31日まで
東藻琴農村環境改善センター・東藻琴公民館	フジケンビルサービス株式会社	平成29年4月1日から平成32年3月31日まで

質疑と答弁
松田議員 ちあふるの指定管理について、管理者の経営努力等の状況は、**南部福祉課長** 管理者の東藻琴福祉会において、いろいろな面で努力や新たな取組を行っている状況で、短期入所及びグループホーム定員の満度入所、ちあふるカフェ等の開催も行っていたと考えております。

沢出議員 東藻琴老人福祉センターの指定管理について、街なかサロンの月1回は少なくないか。

平田住民福祉課長 開催回数については、今後どのように進めるか検討してまいりたい。

条例

条例の一部改正については、①臨時職員等の勤務条件に関する条例、②税条例、③国民健康保険税条例、④農業振興資金利子補給条例⑤特別職の給与に関する条例の5条例、また、新規制定については、平成29年9月オープン予定の地域振興施設に係る⑥地域振興施設条例について提案され、それぞれ議決を行いました。

質疑と答弁

原本議員 地域振興施設は正月は開くのか、また、お盆時期はどうか。
菊地支所長 休日開館及びお盆の早期オープンについては、できる限り対応できるように進めたい。
土地議員 障がい者は使用料の減免はあるのか。
菊地支所長 その点については、今後の経営状況等を見ながら検討していきたい。

要望意見書

次の表のとおり、所管委員会で協議した結果、4件全件採択となり、定例会において、国に対する要望意見書を全会一致で採択し提出しています。(要望意見書内容は要約しています)

★12月定例会の際に審議した陳情等の結果

番号	件名	採択	議員配布対応	継続審査
1	地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める要望意見書	○		
2	大雨災害に関する要望意見書	○		
3	JR北海道への経営支援を求める要望意見書	○		
4	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める要望意見書	○		

国への要望意見書を全会一致で採択



次のとおり、本定例会において、国に対して4件の要望意見書を提出しました。

採択 地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める要望意見書

地方分権時代を迎えた今日、住民の代表機関である地方議会の果たすべき役割と責任が重なる中、町村では議員への立候補者の減少、無投票当選の増加など、住民の関心の低下及び議員のなり手不足が大きな問題となっている。よって、地方議会議員の厚生年金制度加入のための法整備を早急に実現するよう強く要望する。

採択 大雨災害に関する要望意見書

北海道では本年8月の台風の影響などにより、住宅や農地への浸水被害及び道路・鉄道の決壊や土砂災害が発生し、住民のくらしや経済活動に多大な影響が生じている。住民が一日も早く、安心してもとの生活をとり戻すことができるよう早急な災害対策と今後の防災対策が必要であるため、この度の災害からの迅速な復旧と今後の防災対策に向け、特段の配慮を強く要望する。

採択 JR北海道への経営支援を求める要望意見書

JR北海道は、10路線13線区を単独では維持が困難であると発表した。路線廃止となれば、その地域の過疎化が促進され、地域の経済や住民のくらしを破壊することになる。公共交通機関としての役割を放棄するものであるといわざるをえない。よって国においては、地域住民の日常生活に重要な移動手段である鉄道を北海道において公共交通機関としての役割を発揮できるように、JR北海道の経営が自立できるように財政支援等を図るよう要望する。

採択 安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める要望意見書

医療や介護の現場は、慢性的な人手不足のため、働き続けることが困難な状況である。しかし、依然として、長時間夜勤や休息も出来ない短い勤務間隔、介護施設での1人夜勤など、労働者の健康や患者・利用者の安全と尊厳がおびやかされる実態が改善されていない。労働時間規制等への対策は、猶予できない緊急の課題であるため、労働環境改善、人員増員、負担軽減等について要望する。

町政を問う!

(一般質問3人)



一般質問

☆^{たなか ひろゆき}田中 裕之 議員 12ページ

1. 大成4区会館前交差点での事故対応について
2. 旧大成小学校体育館の今後は

☆^{うえち ふみたか}上地 史隆 議員 13ページ

1. 不妊治療について
2. 鉄路の存続について

☆^{さいとう ひろし}齋藤 宏司 議員 15ページ

1. 高齢ドライバーの運転免許自主返納について
2. 町内の廃屋対策について
3. 18歳選挙権について

平成28年第4回定例会では3人の議員から、町の施策などに関する一般質問が行われました

※質問、答弁の内容は、要約して掲載しています。

詳細は、議会ホームページ

(<http://www.town.ozora.hokkaido.jp/docs/2015011300061/>)

及び両地区図書館で閲覧できる会議録をご覧ください。

「議会インターネット中継」のお知らせ

議会の情報公開を進めるため、インターネット上でライブ中継、録画映像を無料で配信できる「ユーストリーム」を活用し、議会審議状況のインターネット中継を行っています。

傍聴に来られない方など、直接議場へお越しただけでも、ご家庭などでご覧いただけます。ライブ中継のほか、録画映像の配信も実施しています。(議会後30日以内)

平成28年11月臨時会(11/28開催)で決定した主な内容をお知らせします。

(条例制定5件・補正予算4件などについて、全議員賛成で可決されました。)

※詳細に対する質疑・答弁内容は要約して掲載しています。詳細は、両地区図書館にある「会議録」をごらんください。また、議会ホームページにある「会議録」もごらんください。

●議会ホームページURL：
(<http://www.town.ozora.hokkaido.jp/docs/2015011300061/>)

平成28年度一般会計補正予算

広域穀類乾燥調製貯蔵施設整備関連費に70億8,596万円を増額補正!

補正予算の主な内容

会計	補正予算額	補正後の総額
一般会計	72億1,673万円	177億480万円
介護サービス事業勘定特別会計	7万円	749万円
簡易水道事業特別会計	24万円	3億5,299万円
下水道事業特別会計	9万円	3億9,523万円

<一般会計>

【歳出】

事業内容	補正額
議員期末手当	23万円
広域穀類乾燥調製貯蔵施設整備事業	70億8,596万円
藻琴山温泉芝桜公園温泉ポンプ取替費	654万円
職員給与費(町長・副町長・教育長含む)	712万円
その他事業	1億1,688万円

【歳入】

事業内容	補正額
産地パワーアップ事業費補助金	33億305万円
広域穀類乾燥調製貯蔵施設整備事業債	37億1,330万円
その他	2億38万円

平成28年度一般会計補正予算について、11月臨時会にて審議を行いました。
6月定例会に引き続き広域穀類乾燥調製貯蔵施設整備関連として70億8,596万円の大増額を行いました。
また、平成28年人事院勧告に伴い、町長・副町長・教育長などの

特別職及び職員の期末手当等の改定による職員給与費を712万円、議員期末手当を23万円、藻琴山温泉芝桜公園温泉ポンプ取替費に654万円などを増額補正し、総額は177億480万円となりました。
内訳は左の表をご覧ください。

質疑と答弁

上地議員 藻琴山温泉芝桜公園の温泉ポンプ取替によりメタンガスが改善されるのか。

伊藤地域振興課長 今回汲み上げの深さを200メートルにし、今後は改善を図りたい。

齋藤議員 広域穀類乾燥調製貯蔵施設について今後の工事発注等も含め、十分な検討を要請したい。
佐々木産業課長 国及び道へ計画承認後、早期に工事発注等を行うよう努めます。

条例改正

条例の一部改正については、特別職の給与に関する条例、教育委員会教育長の給与の特例に関する条例、議会議員の議員報酬及び費用弁償条例などについて議決を行いました。

専決処分

女満別湖畔側木事故の発生による当事者との和解及び損害賠償の報告がありました。



田中 裕之 議員

問 大成4区会館前交差点での事故対策は

答 今後もより一層安全対策を講じてまいりたい

田中議員 大成4区会館前の交差点の事故防止の対策について、地元の自治会でも何度も信号機の設定や、また点滅灯の設置やさまざまな方を町を通して公安委員会にお願いをしていただいたところですが、残念ながら聞き入れていただけなかったのが現状であります。町では、今年100万円の補正予算を組んでいただきまして、町としての対策を取っていただきましたが、どのような工事をしたのか伺いたい。

山下町長 大成4区会館前の交差点は、過去から交通事故が多発する交差点として北見公安委員会、網走警察署に交通安全施設の設定について要望をしまいにりました。過去から多くの事故がありました。私の就任以降でも平成16年7月に一日停止を無視した乗用車同士が出会い頭に衝突し死者1名・負傷者2名という事故が発生しております。その後、平成21年7月、22年5月、23年6月、24年8月、26年5月、今年に入りまして4月、7月と毎年のように



旧大成小学校体育館

欲しいという関係者の声、また議会の中で一般質問などもあり、町としてその状況を見守ることいたしました。その中で、先ほど申し上げましたとおり、来年度で一区切りがつくというところでございますので、それを受けて、どのように考えるか、そのことについて、自治会に、私どもがまず動いて発端をつくってまいりたいと考えているところでございます。

一般質問

に人身事故が発生しており、このほかにも物損事故も多数発生している交差点でございます。

今回の要望においては、北見公安委員会の現地調査の結果では、受け入れられていない状況でございます。しかし、町道を管理する町としては、交差点の路面表示での一旦停止の表示、路面に描く表示、ドット線、段差をつけた表示、振動によって交差点があることを知らせるものなど、路面表示を塗り直したところでございます。また、一旦停止標識と重なる道路案内標識（青看板）の場所の移設工事を行ったところでございます。

田中議員 見やすくしていただいたことは大変ありがたいことなんですが、今までもほとんど変わらないう感じですが、こちらからも提案させていただきます。止まれる看板の縁に発光ダイオードで、光るようにしてはどうでしょうか。今では電光掲示板で一旦停止と出るものがあると思えます。そういう方策はどうでしょうか。

山下町長 この交差点については、地域の方々も何とか信号をとか、さまざまな御提案をいただいております。網走警察署や北見公安委員会等に対しては、町としてもさまざまな形で取り組んできております。今回ご提案の部分についても考えてみたいと存じます。



当該交差点に設置予定の電光掲示板

問 旧大成小学校体育館の今後の取り扱い

答 今後は体育館解体に向けて協議をしていきたい

田中議員 旧大成小学校体育館の今後の取り扱いについて、体育館については、当時残された3地区で、朝日地区、開陽地区、大成地区と順番に体育館を取り壊すということになっていきましたが、国内的にも珍しいヒメヒナコウモリの営巣が確認されたことから、調査のために今でも残っている状態です。調査は、29年度で終了するということがありますが、現在、ヒメヒナコウモリはどうなっているのか、また調査終了後は、体育館の取り扱いをどうするのかを検討されているのであれば伺いたい。

山下町長 旧大成小学校体育館は、現在調査されている方からの報告では、調査は来年度で一応の区切りとする予定であるところであり、来年度の調査の区切りに合わせて、自治会の皆様の意向も伺いながら、当初の予定でありました解体に向けて、協議したいものと考えているところでございます。旧大成小学校体育館は、建設してから59年を経過しており、60年を経過した年度で建て替えが考えられますけれども、費用等を考慮いたしますと、供用廃止と位置づけることが妥当ではないかと考えているところであります。

田中議員 体育館を取り壊す場合、どの位の予算が必要か伺いたい。

佐藤建設課長 1000万円程度を想定しております。



上地 史隆 議員

問 不妊治療の町の現状はどうか、また助成額は適正か

答 助成措置が適正かどうかも検討し、また周知等にも努めたい

上地議員 女性の社会進出やライフスタイルの変化により晩婚化が進み、35歳以降は妊娠率が急激に下がります。不妊治療で最初に行うのはその原因を突きとめる検査ですが、その費用は保険適用で数万円程度です。検査後の治療では、基本的に大きく分けたいミング法、人工授精、体外授精、顕微授精の四つです。体外授精・顕微授精は、高度不妊治療で保険適用外で20万円から50万円程度と高額になることもあります。現在、道や町にも助成がありますが、実際に不妊に悩まれている方はどのくらいか。また、高額な費用に対し現在の助成で足りているかお伺いしたい。

山下町長 本町では、少子化対策の一環で経済的負担の軽減を図り、不妊治療費助成金交付要綱を定め、平成23年4月1日以降に受けられた不妊治療から助成を行っています。国や道は体外授精、顕微授精のみの対象ですが、それらに上乗せ補助を行い、国や道において対象外の人工授精も助成対象として

います。実績は、制度開始から今日まで11人に対し、延べ40回の助成を行って、その11人のうち4人が出産をされております。2人が現在妊娠中で、1人の方が引き続き不妊治療をされています。不妊治療に要する治療費について、特定不妊治療は医療内容や治療費に違いがあります。当管内の指定医療機関での1回の治療費は約20万円から45万円、国と道から1回の治療につき15万円の助成金と町の助成金5万円、計20万円が助成されます。国や道の助成金は通算助成回数に制限があり、回数を超えた場合、町の助成金5万円しか支援を受けられません。治療費が高額の場合、多額の自己負担が生じます。特定不妊治療実施の自己負担額を想定すると、把握できる分でも25万円から90万円程度になると思われますので、さらに、一層の負担軽減策を講じていくことが必要かと考えております。

上地議員 共働き世帯も多いのでもう少し助成をしないと、所得が下がる中、大変ではないかと思えます。少子化にすくく力を入れているのはわかりますが、ほかの自治体より頭一つ抜けてやるぐらいじゃないと移住・定住につながらないと思うのです。

山下町長 不妊治療助成は、人口減に歯止めをかけるための総合戦略に位置づけています。必要とされる方の把握も十分ではないですし、助成額がどの程度が良いのか、他のところでは所得制限や年齢制限や回数など、助成要件を持ちながら取り組んでおりますので、それらをどのように捉えて、この施策の効果というものが最大限発揮できるか、見直しを図ってみたいと考えております。

松川福祉課長 不妊治療助成の実施状況については、平成23年度から11人に対し人工授精・特定不妊治療で計40回の助成を行っています。年齢では、1番若い方では33歳、上の方では43歳の方が助成を

受けております。また、特定不妊治療につきましては、レディースクリニック、中村記念病院で20万円から40万円の費用がかかりますが、札幌の病院で受けられた方は、1回当たりの治療費は40万円から60万円と高額になっております。

上地議員 都市部に比べて不妊治療の理解が不足しているように思います。不妊治療するには、やはり周りの支援や理解が必要だと思いますので、ぜひ周知に努めていただきたい。

山下町長 周知・理解は、広く浸透させていかなければならないと考えています。また、町の制度のPRもできればと思っておりますので、紹介をしたり理解を深める活動にこれから努力をさせていただきます。

問 石北線などの鉄道の存続をどうするか

答 今回の課題は北海道及び管内全体で今後協議を進めたい

上地議員 新聞やテレビでも大きく取り上げられ近隣の沿線自治体でも存続について要望意見などが上がっています。発端はJR北海道が11月18日、在来線の総延長の約5割が維持困難な路線だと発表しました。その中には石北線も含まれています。理由は、国から6822億円の経営安定化資金が供用されていますが、高い利率での運用ができなくなったのと、安全化投資にも毎年350億円以上必要であり、今回の台風被害の復旧費がさらに追い打ちをかけているためです。JR北海道は、赤字軽減のため沿線自治体と路線維持などの費用負担の協議を考えていますが、町は今後どのように対応していくのか。

山下町長 JR北海道は、設備の見直しやスリム

化、運賃の値上げによる利用者の応分負担、日常的に鉄道を利用してもらう利用促進策、運行と施設等を分ける上下分離方式などを対策案として示しております。しかし、これまでにどのような改善策を講じ、大原則である安全性の確保、経営の安定化、維持存続のために利用者や地域とどのように向き合ってきたかなど、疑問な点もございます。今後、協議をするとした場合、前提として、これらの情報開示も積極的に行っていただかなければならないものと考えております。北海道では運輸審議会があり、下部組織として総合的な交通体系を検討する地域公共交通検討会議が設置されています。このほど鉄道網のあり方を集中的に議論するため、有識者によるワーキングチームが設置され、来年1月には北海道における将来にわたる鉄道のあり方について、一定の方向性が示されると伺っています。当管内では、オホーツク圏活性化期成会にて意見交換を行い、石北線・釧網線は将来必要な路線であるという考え方を確認したところでございます。個別の市町村でJRと協議はせず、宗谷管内・上川管内・釧路管内など他の圏域との連携を強化して進めることにしています。さらに駅所在の市町村だけではなく、当管内全体の課題と受け止め、活性化期成会を窓口に対処することを確認したところであります。JRが上下分離方式などを提案はしていますが、実態は詳しくわかっておりません。もし多額の財政負担を求められるということであれば、受け入れられるものではないと考えています。

上地議員 石北線は、新旭川〜網走間で234キロあり、芋とタマネギの収穫期には、臨時列車を1日1往復運行しています。都市部に送り出す重要な役割を果たし、廃線になった場合代替えは難しいという意見も出ています。この重要な石北線については、ぜひこれからも、国の支援の再構築はもろろん

きな時間に好きな場所に、それぞれ行くことができるけれども、その他の交通手段であっても、そこまではなかなか行かないけれども、できるだけそういうものを充実させてやるべきではないかと、そういうようなお話がありました。また一方では、高齢者で一律に区切るわけにはいかないのではないかと、地域の状況からするとある程度仕方がないのではないかとこの高年齢者側のご意見もありました。



齋藤 宏司 議員

問 高齢ドライバー運転免許自主返納の支援制度化は

答 返納支援ではなく、現在の支援を改善していきたい

齋藤議員 高齢ドライバーの交通事故が社会問題化しています。高齢ドライバーの心情に配慮しつつ、交通事故を起こす前に運転免許証の返納の決断ができるような環境づくりが必要ではないかと考えますが、返納支援制度について伺いたいと思います。

山下町長 平成28年1月から11月までの事故状況を見ますと65歳以上の方の事故は、全体の22%、大空町は27年事故発生件数は7件、負傷者が7人、28年11月末までは事故発生件数6件、負傷者が7人です。

どの年度も、65歳以上の事故はゼロ、負傷者もゼロとなっています。最近では、高齢者の運転操作ミスの事故が全国で発生し、免許証の自主返納ということの是非や仕組みづくりが議論されています。本町では、高齢者の移動支援する対策として、スクールバスの混乗のほか、福祉タクシー券、外出支援タクシー券の制度を設け、高齢者の移動を支援させていただいております。ふれあいトークなどは、今、運転免許証をお持ちの方々は、それぞれ好

ですが、道にも地域の交通網がどうあるべきなのかということを描いていただきたい。人口減、車社会で利用客は減っていますが、住民にも危機意識を持って利用していただくということも大事ではないかと思えます。

山下町長 私どもの町に空港があるからといって鉄道が無くて良いというわけではありません。やはりいろんな意味で、皆さんに使っていただかなければならない。そういった利用促進も、町としても努力して行かなければならないと考えております。今回の課題は、一つの組織や自治体が頑張れば良いというものではなく、JRも町も道も国も、それぞれの立場・役割を認識し努力するしかないのではないかと考えております。



石北線を走る特急オホーツク

り、68%となっています。利用状況は、535枚のタクシー券を使っていたが、実際の発行枚数から10%弱の利用となっています。やはりご自宅から病院に通う方が一番多く見ております。スタートから8カ月ということ、1年、2年を通し、検討しながら見直しを考えて行きたいと思えます。

山下町長 免許証の自主返納については、他のところでは交通の足を確保するというほかに、身分証明証に替わるようなものを発行したりと、きっかけ作りもして、そういうこともこれからは念頭に置いて、町民の方々にPRをしてまいりたいと考えています。

問 町内の廃屋に対し、行政代執行を行う考えは

答 今後の状況を見つつ判断したい

齋藤議員 空き家等対策推進に関する特別措置法が平成27年から施行となっておりますが、住宅などの老朽化がどんどん進むことにより、美観上の環境、倒壊、飛散による近隣住宅などへの影響が大きいと考えられますが、町内の廃屋の現状や今後の対策などについて伺います。

山下町長 本町の空き家は現在120件であり、平成26年度から廃屋等解体撤去補助金制度を創設しています。空き家の管理は、町外在住者も多く、問題意識を持たれなかつたり、経済的な理由や相続関係などから適正な管理がされていないこともあり、空き家が荒廃していく要因があります。空き家所有者等に対し、適正な管理を行うよう文書指導や直接連絡をしております。今年8月、台風7号の影響で3件の廃屋の屋根が飛散をいたしました。条例に基

総務厚生常任委員会

●第11回〔平成28年11月22日開催〕

主な審議項目	説明概要等
平成28年人事院勧告に基づく大空町職員給与改定について	平成28年人事院勧告に伴う町職員の給料表水準及び配偶者に係る扶養手当の見直し等
大空町臨時職員等の勤務条件に関する条例等の一部改正について	臨時職員等の賃金等の見直し（一部引上げ）
土地・建物の寄附について	女満別中央病院横の医師住宅の土地及び建物の寄附
国保の都道府県単位化に係る国保事業費納付金の仮算定結果について	平成30年度からの国保制度改正による都道府県単位化に伴う全道市町村別の算定結果
交通安全計画（更新）について	5年間（H28～H32）の大空町交通安全計画の内容
塵芥処理等指名型プロポーザル審査会の結果について	一般廃棄物処理業務などに係る審査会の状況及び結果
◆上記のほか、「大空町税条例の一部改正について」など全9項目を審議	

●第12回〔平成28年12月8日開催〕

主な審議項目	説明概要等
社会保障・税番号制度システムの整備について	マイナンバー制度に伴うシステム整備状況
東藻琴診療所超音波画像診断装置について	東藻琴診療所への新しい医療機器の導入
臨時福祉給付金について	臨時福祉給付金の支給状況及び今後の見込み
廃屋等解体撤去補助金の補正（危険指導家屋分）について	廃屋等解体撤去補助金の支給状況及び増額
北海道における空港運営戦略の推進（案）について	空港民営化に伴う北海道作成の推進案の報告
◆上記のほか、「指定管理者の指定について」など全7項目を審議	

●第15回〔平成29年1月16日開催〕

主な審議項目	説明概要等
町営住宅長寿命化計画（案）について	10年間（H29～H38）の長寿命化計画の内容
◆上記のほか、「エキノコックス感染対策調査結果について」など全3項目を審議	

産業建設文教常任委員会

●第11回〔平成28年11月9日開催〕

主な審議項目	説明概要等
大空町の新しい高校づくりについて	大空町の今後の高校のあり方について審議
◆上記のほか、「除雪計画について」など全3項目を審議	

づき指導1件、勧告2件を行い、指導の1件については、解体工事の要望があり、残り2件につきましても、交渉を進めている状況でございます。行政代執行の経費は、所有者や権利者へ請求しますが、支払能力の有無などの課題がありますので、町民の方の意識では、廃屋化してしまえば最終的には町が壊してくれると、そういう安易な発想にひよっとしてつながらず行くのではないかと不安もございまして、なかなか行政代執行まで踏み込めるかどうかという判断ができておりません。

齋藤議員 廃屋に対する行政代執行については、どんな状況になってもやらないのか。

山下町長 補助金があってもなかなか壊せない方というのは、町で壊してしまった費用分を町で回収するということは、債権債務が発生し徴収することに多大な努力が必要で、今までの事例も含めて全額回収できると思えません。町民の皆さんが税金で穴埋めすることに反対をしないで全面的に協力すると言ってくれるかどうか、その判断を現在見極めていく状況でありますので、御理解いただきたいと思います。

齋藤議員 本場に切羽詰った段階では、それも仕方ないことだと自分ではそう思います。廃屋になるとその利用価値もないから倒壊寸前にしか見えません。制度が変わり固定資産も6倍になるということも知らない方が多く、お金が無いのでそのままにする方もいると思います。私自身はその辺では協力したいと思っています。

山下町長 できるだけその除却に向けて、税金の問題とか、御相談をさせていただき、今現在、補助金対象のものから、悪化をして危険が周辺にまで及ぶものではないかと思えますので、もう1段階の基準を持ち得なければならぬのではないかと考えております。その考えなどがまとまりましたら、ま

た皆様にもご意見をいただきながら覚悟を決めていきたいと考えております。

問 18歳選挙権についての今後の課題は

答 投票率向上に向け、啓発活動を行っていく

齋藤議員 選挙権の年齢が70年ぶりに改正され、従来の20歳以上から18歳以上に引き下げた改正公職選挙法が平成27年6月から施行となり、今年の夏の参議院選から対象となりましたが、本町の選挙結果の分析、今後の課題について伺いたい。

高橋選挙管理委員会委員長 選挙管理委員会としては、町広報紙に掲載するとともに、新たに選挙権を有することとなった18歳及び19歳の方に対し、参議院議員選挙投票所入場券と選挙啓発パンフレットを同封し、選挙啓発を行ったところです。しかし、大空町における10代の投票率は31・91%と全道平均の43・38%及びオホーツク管内平均の32・65%を下回る結果となりました。

熊谷選挙管理委員会事務局長 20代でも44・14%と、大空町の投票率61・57%を大きく下回っている状況となっております。

齋藤議員 日本は本場に遅れて、世界では192カ国中92%が18歳以上の選挙を行っています。今回の結果を受け、選挙に対する心がけや一票の重みへの啓発等をさらに行っていただきたい。

熊谷選挙管理委員会事務局長 公職選挙法等の改正について注視するとともに、年4回の選挙人名簿登録のお知らせを行う際、選挙啓発パンフレットの送付を引き続き行います。また、今後の選挙では、広報紙及びホームページでの啓発や他市町村での優



高校生の模擬投票体験



選挙啓発高校生出前講座の様子

良啓発活動の導入なども進めていきたい。投票率向上に向けて、なお一層取り組んで行きます。

●第12回〔平成28年11月22日開催〕

主な審議項目	説明概要等
芝桜公園温泉汲上用水中ポンプの故障について	メタンガスによる温泉汲上用水中ポンプの故障の状況及び新規入れ替え等に伴う整備費用

●第13回〔平成28年12月8日開催〕

主な審議項目	説明概要等
農業振興資金利子補給条例の一部改正について	本年8月の台風等による農業被害への救済措置
平成28年激甚災害に係る農業経営緊急支援資金利子助成金交付要綱の制定について	災害復旧に係る資金借入に対する救済措置
大空町観光振興計画（素案）について	10年間（H29～H38）の観光振興計画の新規策定
芝桜公園でのこがね虫（害虫）の発生について	芝桜公園の芝桜の根へのこがね虫の発見状況及びその後の対応処理状況
町立学校体育文化振興補助金及び体育振興補助金の予算補正について	全国・全道大会への団体・個人の出場に伴う予算計上
東藻琴小学校体育館建設について	老朽化に伴う東藻琴小学校の新体育館の整備（平成29年度完成予定）
◆上記のほか、「網走川中央地区国営かんがい排水事業について」など全13項目を審議	

●第16回〔平成29年1月16日開催〕

主な審議項目	説明概要等
大空町耐震改修促進計画の策定について	5年間（H29～H33）の耐震改修促進計画の内容
◆上記のほか、「除雪車両で発生した出火について」など全3項目を審議	

合同常任委員会（2常任委員会合同での調査）

●第11回総務厚生・第12回産業建設文教〔平成28年11月22日開催〕

主な審議項目	説明概要等
国勢調査確報値について	平成27年国勢調査の確報値の公表状況
広域穀類乾燥調製貯蔵施設の整備状況について	平成30年完成予定の広域穀類乾燥調製貯蔵施設の進捗状況
東藻琴福寿苑増築事業基本設計概要について	平成30年完了予定の東藻琴福寿苑増築事業の現在までの進捗状況
◆上記のほか、「指定管理者制度に係るモニタリング評価について」など全6項目を審議	

●第12回総務厚生・第13回産業建設文教〔平成28年12月8日開催〕

主な審議項目	説明概要等
地域振興施設について	平成29年9月オープン予定の地域振興施設の進捗状況

●第14回総務厚生・第15回産業建設文教〔平成28年12月21日開催〕

主な審議項目	説明概要等
第3次大空町行政改革大綱及び推進計画について	現在までの進捗状況及び5年間（H29～H33）の行政改革大綱及び推進計画の内容
大空町総合計画実施計画のローリング結果について	現総合計画各項目に係る事務事業の評価及び検討の状況について

産業建設文教常任委員会
道内行政視察報告(10/17、19)

視察先①：檜山管内せたな町
北海道檜山北高等学校
研修項目
「総合学科設置高等学校の運営状況について」

檜山北高等学校は昭和47年に当時の「今金高等学校」と「北檜山高等学校」の2校が統合し、全道でも珍しい「総合学科」設置高校として設立され、現地では、雄大な自然環境の中で学びながら、心豊かにたくましく生きる力を養う、そしてふるさとや社会に貢献できる多様な人材育成を目指すことを目的に、生徒一人ひとりに対応する幅広い総合選択科目を設定している状況を視察することができました。

当町でも将来の高校のあり方を議論している状況です。檜山北高校での生徒の進路選択の拡大や資質・能力形成への取組みは大変参考となりました。



高校内の農産加工室にて

視察先②：石狩市
石狩市農業協同組合
研修項目
「農産物直売所（とれのさと）の運営状況について」
「登録制農業パートナー（グリーンサポーター）について」

石狩市農業協同組合では、農産物直売所「JAいしかり地物市場とれのさと」の運営と登録制農業パートナー「グリーンサポーター」の取組みを行っています。「とれのさと」は、地産地消や地域交流の観点から現在のところ平成23年4月にオープンし、地元産の米・野菜・加工食品などを販売し、札幌圏の消費者の多くが訪れるなど、成功を収めています。また、「グリーンサポーター」は、農作業の人手不足解消のため、パートタイムでJAで募集・登録し運営しているというもので、農家負担軽減、効率性向上、経営拡大促進など、農業経営へのメリットが多くあるとのこと、大変参考となりました。



直売所「とれのさと」にて

視察先③：札幌市
ノーステック財団
研修項目
「ノーステック財団の概要」
「六次産業化の現状と取組状況について」

ノーステック財団では、「北海道の産業おこし」を理念とした産業クラスター活動等への支援を行っており、道内各地の22の地域産業クラスター研究会や地域食品加工技術センターなども連携を行っており、主に農林水産物の商品開発や高付加価値化、さらに商品普及活動や販売支援などのアドバイザー的な業務を行っているとのこと。

特に六次産業化の現状と取組については、各地域の特産加工品（ドレッシング・レトルト食品・加工ユースなど）における高付加価値化・ブランド化の難しさにおける課題、さらに単独ではなく産学官をはじめとした地域間や業種間の連携が将来的に重要でポイントとなる旨説明を受けました。



ノーステック財団にて

議会活動掲示板

【消防出初式 1/7】

消防出初式が両地区で行われ、議員10名が出席しました。



【成人式 1/8】

成人式が議事堂文化ホールで行われ、議員11名が出席しました。



ちょう みる こえ 町民の声



もうたい
馬渡 智昭さん
(東藻琴千草)

～地域振興施設による地域活性化を～

東藻琴千草の地で生まれ農業を営んでいるが、自治会の戸数減少と共に子供たちの声も途絶えてしまった。40年ほど前は、スクールバスは満席、大人たちは大変な農作業の合間を縫って地域行事を楽しんでいた。なかでも東藻琴神社の秋祭りは盛大であったのを記憶している。

アメリカ中西部ノースダコタ州にある小さな街コルファックスに知り合いがおり、何度か訪問したことがある。広い農地に農家が点在し、街には学校とガソリンスタンド、カフェが1軒あるだけだった。このカフェのランチタイムは、わりと賑わっており、みな同じハンバーガーとポテトとコーラで歓談している。ほかのメニューはいつも品切れらしい。

この人口は150人ほどと聞いた。ヨーロ

- ッパのように、教会を中心に街が創られると
- 100人ほどの農村でも活気が感じられるが、
- ここは大区画圃場に農家が張り付くかたちで、
- どこか寂しさを感じる。この入植・開拓のスタイルは北海道の農村と同じで、コルファックスに東藻琴の未来を見た気がする。
- 人口減少が進む農村では、農家も街で暮らし圃場に出向き仕事をするという農村のかたちも検討の価値があると思う。
- コルファックスカフェに何度か通う中で、
- 過疎の地にこそ住民が集い飲食できる場所があることの大事さが痛感できた。東藻琴に建設中の宿泊・飲食・物販施設が自然発生的なコミュニティの中心になることを期待している。

議会の傍聴は お気軽に!

◆定例町議会は、年4回（3月・6月・9月・12月）に開かれます。また、臨時町議会は、必要に応じて随時開かれますので、お気軽に傍聴においでください。

◆詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

3月定例会は、

3月7日(火)から

開かれる予定です。

SANWA

Amenity Life

快適でお得なリフォームをご提案!



快適リフォームプランナー

有限会社 三和建設

大空町女満別公園6丁目1-19

☎ 0152-74-2651 FAX 0152-74-2071

※民間事業者からの有料広告を掲載しています。

本紙は、見やすさや読みやすさを配慮したユニバーサルデザインフォントを採用しています。
また環境にやさしい植物油インキを使用しています。

大空町議会だより 第43号 平成29年2月17日発行

発行／大空町議会
編集／議会広報常任委員会
印刷／株式会社須田製版
〒099-2302 北海道網走郡大空町女満別西3条4丁目1番1号 TEL(0152)742111 FAX(0152)742191

